

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 普通科・理数科

1 期待する生徒像

－普通科－

高校生活を意欲的に送る意志のあるもので、かつ、次のア又はイのいずれかの要件を具備すること。

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に積極的な姿勢で取り組むことができること。

イ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に優れた実績を有し、かつ本校の学習に十分適応できること。

－理数科－

高校生活を意欲的に送る意志のあるもので、理数分野に強く興味・関心を有し、深く探求する意志があること。さらに次のア又はイのいずれかの要件を具備すること。

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に積極的な姿勢で取り組むことができること。

イ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に優れた実績を有し、かつ本校の学習に十分適応できること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 小論文	小論文の結果を資料とする。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。 40点以下の教科がある場合は審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	全教科の評定の全学年の合計値を算式1により求めた値で評価する。必修教科の評定（5段階）で2以下の教科がある場合は審議の対象とする。
出欠の記録	3カ年皆勤、生徒会活動、部活動等における顕著な実績などについて点数化（15点満点）して評価する。各学年15日以上 の欠席がある場合は審議の対象とする。
特別活動の記録	
部活動等の記録	

(3) 小論文

評価項目	評価基準
字数・内容	字数500～600字、時間50分の検査を行い、評価項目を総合して、A～Cの3段階で評価する。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由 自己アピール	本校を志願した動機等が明確であるかを確認し、必要に応じて判定の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

- 1 次のアからウの条件を全て備える者をA組とし、この者は入学許可候補内定者とする。ただし、理数科の傾斜配点を行わない。
 - ア 調査書中の評定について、算式1で算出した数値によって順位をつけたとき、予定人員の70%以内にあること。ただし、受検者数が予定人員に満たないときは、受検者数の70%以内にあること。
 - イ 学力検査問題5教科の得点合計によって順位をつけたとき、予定人員の70%以内にあること。ただし、受検者数が予定人員に満たないときは、受検者数の70%以内にあること。
 - ウ 調査書の記載内容、学力検査の個々の教科の得点及び小論文の結果に、特に問題となる点がないこと。
- 2 A組に属さない者をB組とし、この者については、次のアからウの数値の合計値を資料として、総合的に判断する。ただし、理数科の傾斜配点を行わない。
 - ア 調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭（選択科目については除く。）及び外国語（外国語については必修及びすべての生徒が共通に履修するもの。その他の選択科目については除く。）の評定（算式1を使用する。）
 - イ 学力検査問題5教科の得点合計
 - ウ 調査書の記載内容（点数化された「特別活動の記録」等におけるプラス項目の合計値）

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面接を行う。